

広報



# かわにし

平成4年 5/10 No.405

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き	
— 5月1日現在 —	
男	4,408 (-4)
女	4,458 (-3)
計	8,866 (-7)
世帯数	2,219 (+8)

( )は前月比較



## わ～泳いでる

## いっぱい鯉のぼり

— 4月18日 千手保育園 —

五月五日は端午の節句で、男子の節句として、男の子を持つ家では鯉のぼりを立てたり武者人形を飾ったりします。この節句を前に、千手保育園でも園庭に張られたロープに、十数匹の鯉のぼりがつるされ、園児たちも大喜びでした。

ちなみに、この鯉のぼりは、園児の父兄や「不要になった」と言って園に寄贈してくださる方々のお蔭で、年々数が増えているそうです。



### 休日救急医

5月10日 国保診療所(中央町) ☎ 68-2034

17日 中条病院(中条) ☎ 57-3018

24日 池田医院(本町西) ☎ 52-2581

31日 庭野医院(寿町) ☎ 52-2711

6月7日 中条病院(中条) ☎ 57-3018

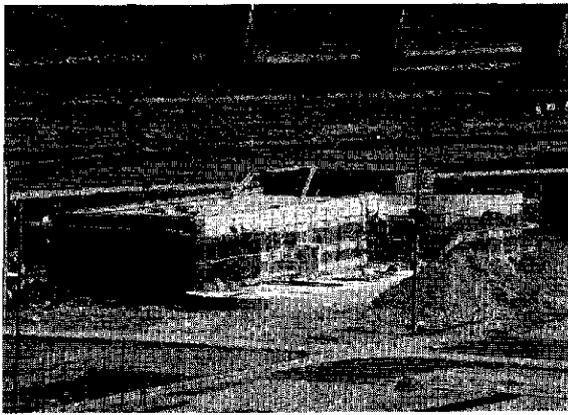
14日 大坪医院(四日町) ☎ 57-6100

# 議会報告

五月二日、第二回町議会臨時会が開かれました。会期は一日間です。

始めに、一般会計補正予算など、専決処分した事件二件が承認されました。次に、税条例の一部改正が原案どおり可決されました。

さらに、農業集落排水処理施設建設工事請負契約（請負者―丸山・新潟鉄工特定共同企業体、請負金額―一億二、八二三万五千円）が承認されました。



8月竣工の予定で工事が進められる集落排水処理施設



野口の水ばしよう



ナカコグリーンパーク

## アメニティって何だろう？

豊かな緑やさわやかな空気、美しい街並みや歴史的な雰囲気、に触れたとき、わたしたちの心にやすらぎや癒いを感じることはありませんか。このよつな身のまわりの快適環境を「アメニティ」と呼んでいます。

ちよつと目慣れない言葉かも知れませんが、このアメニティを高めることが、健康の維持や増進、精神のリフレッシュ、子供の健やかな成長などにつながるとして、最近、特に注目を集めています。

わたしたちのまわりの環境を改めて見つめ、どうすればもっとアメニティを高めることができるか、みんなで考えていきたいと思います。

わが国の急速な経済成長は、数十年の間に社会を大きく変化させました。所得水準は高まり、余暇時間が増えるなど、人々の生活は全般的に向上しました。しかし、その一方で、美しい自然や静けさなどの快適な環境が失われつつあることも否定できません。

経済成長が発展し、成熟化し

つつあるいま、わたしたちが健康で文化的な生活を営むためにも、身のまわりの環境の快適さ（アメニティ）を求め、つくり上げていくことが望まれているのです。

### 住民の参加が

### 必要不可欠

環境づくりという点、とかく行政の仕事と思われがちのようです。確かに公共事業をはじめ、行政がやらねばならないことは数多くあります。しかし、その一方で、住民一人ひとりがする快適な環境づくりもおおきなりにはできません。

たとえば、不快なものをなくすことが、アメニティを高める第一歩だといわれます。それには自転車の放置やたばこ・空き缶の投げ捨てをしないように心がけたりすることが第一です。

さらにもう一歩進んで、このような不快感を与えるものを積極的に取り除いていく清掃活動などは、わたしたち一人ひとりがやらなければならないアメニティ活動といえるでしょう。

地域の住民と企業や商店、そして行政の三者が手を取り合い、一致協力してこそ、真のアメニティが実現するのです。

## 1 緑や水を中心とした環境の整備

清らかな水や美しい緑、身近な小動物とのふれあいは、わたしたちの心にゆとりとやすらぎを与えてくれます。しかし残念なことに、そのような好ましい環境は、急速な経済成長が進む中で、次第に失われつつあるのが実情です。

- ▼ 特に都市やその周辺の地域では、自然とふれあえる場を積極的につくり上げていくことが求められています。
- ▼ 自然遊歩道や街路樹を増やし、緑に親しみましょう。
- ▼ 水辺のある公園やバード・サンクチュアリ（野鳥の聖域）

では、野性の小動物とふれあえます。

- ▼ 家庭菜園などで土に親しみましょう。



## 2 良好な自然環境の保全

人口の都市集中や、それに伴う開発によって、良好な自然が失われつつあります。身近にある自然を保護し、積極的によみがえらせていくことが望まれます。

- ▼ 河川、森林などを無秩序な開発から守りましょう。

▼ ホタルやカブトムシなどの野生動物や昆虫が棲めるような環境をつくりましょう。また、樹木に鳥の巣箱を取り付けた

り、川にアユやサケの稚魚を放流したりすることも大切なアメニティ活動です。

# わたしたちができる

## アメニティ活動

アメニティを高めていくために、わたしたちは具体的にどのようなことを手がけていけばよいのでしょうか。地域でやっているアメニティ活動を体系づけると、大きく次の五つの柱に分けることができます。ここでは、五つの柱のそれぞれの意義と、そこで実際にできる活動を考えてみました。

## 3 歴史的価値の保存

地域の歴史的遺産や文化の香りは、地域社会への愛着を感じさせ、郷土愛をはぐくむために不可欠です。地域の環境の質を高めるためにも、歴史的な価値のあるものを保存し、活用していきたいものです。

▼ 遺跡や歴史的な構築物は地域の宝であり、その保存は地域の人々が代々引き継いでいかなければならない義務といえるのではないのでしょうか。

## 3 快適な生活空間の創出

市街地などでは、人工的に作られる建築物や広告看板などが生活環境の良し悪しに大きな影響を及ぼします。このような人造物が無秩序に作られることを見直し、調和がとれ、潤いを感じられる生活空間を創り出していきたいものです。

- ▼ 広告物の規制や建築物の色彩の統一などは、街の景観をよりよくすることでしょう。
- ▼ ブロック塀を生け垣に替える



ことは、快適な環境づくりとなるばかりでなく、防災面での安全性を高めます。

## 4 環境に配慮した生活・行動ルールを守る

生活様式の変化に伴う人々の日常生活のモラルの低下が、しばしば環境に悪影響を及ぼすと指摘されています。日ごろの生活態度を見直し、環境に配慮した生活習慣や行動ルールを確立したいものです。

- ▼ リン含有洗剤を使ったり、食べ物残りや下水に流したりして、必要以上に水を汚さないようにしましょう。
- ▼ 静けさは、快適な環境の重要な要素の一つです。お互いが近隣騒音の発生源にならないよう注意しましょう。
- ▼ 空き缶やタバコの吸い殻を投げ捨てないようにしましょう。

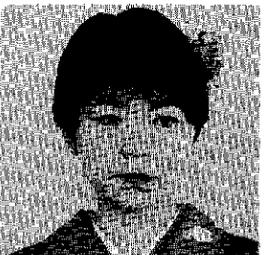
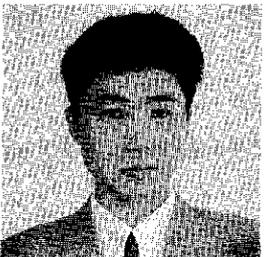
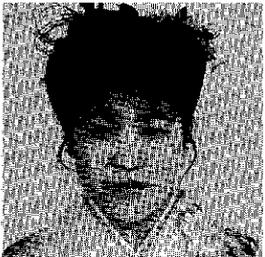
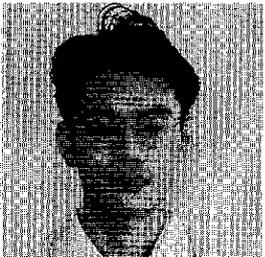
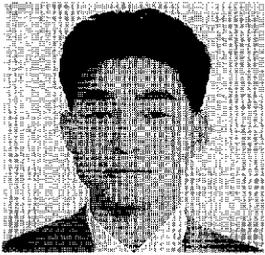
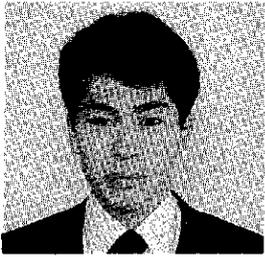
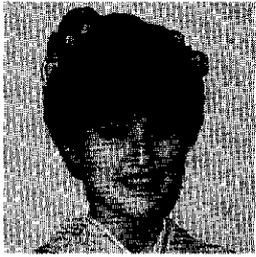


また、身近な公園や道路を清掃するなど、積極的な環境美化活動を展開していきたいものです。

- ▼ 廃棄物を活用した、資源リサイクル運動を始めましょう。

# いま、成人 輝くとき

5月3日



## 西町

記念講演

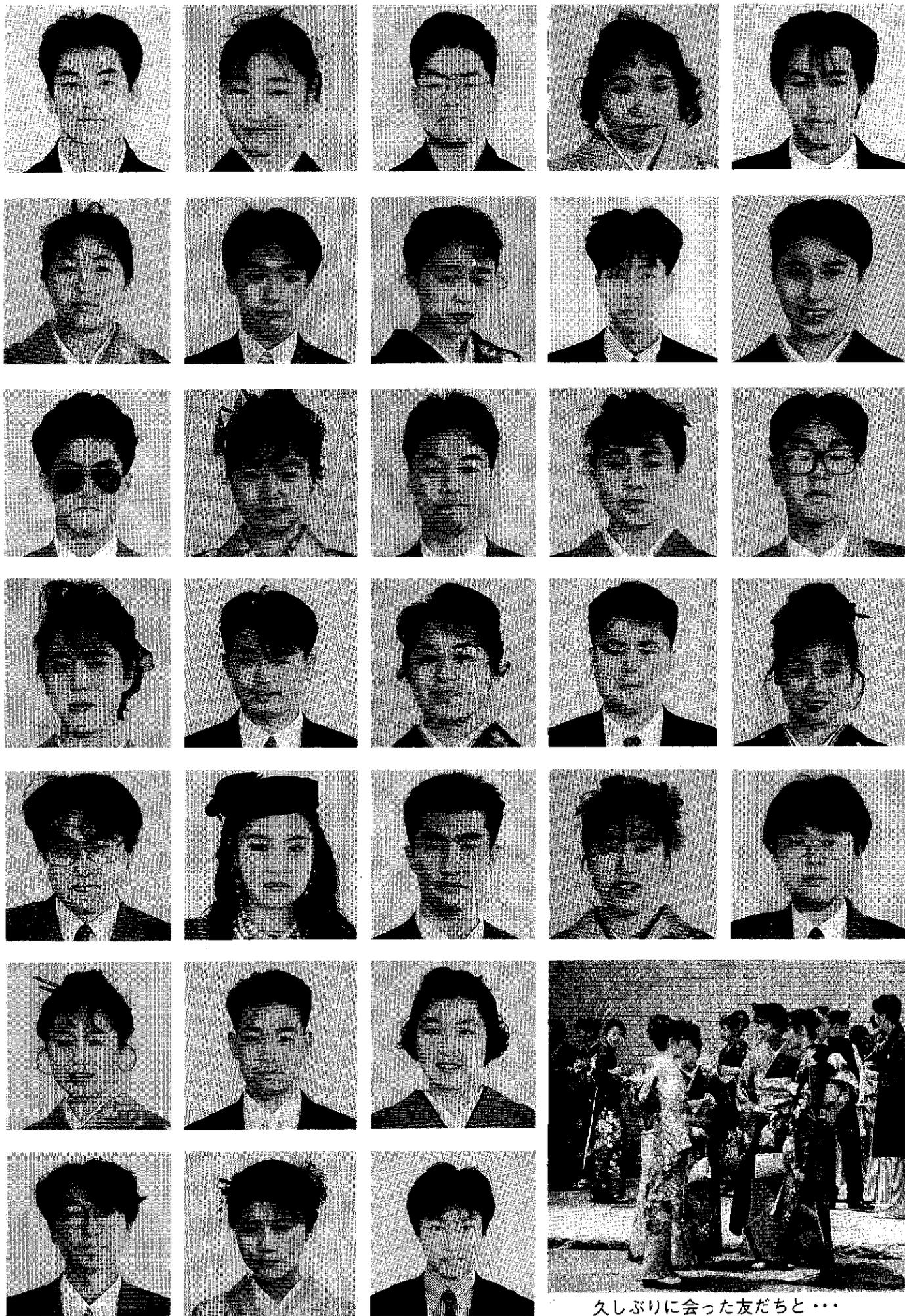
『俳優として成人式に思うこと』

俳優 森田順平さん

ことし、成人を迎えられた方々は、昭和46年4月2日から47年4月1日までに生まれた男子六八八人、女子五八八人の計一二六六人です。そのうち一〇五人が成人式に出席しました。

昭和五十三年、九年ぶりに春の成人式を実施して以来、春に式を実施するということが定着してきたようです。

当日、式に出席され、撮影にご協力いただいた成人の方々を紹介します。



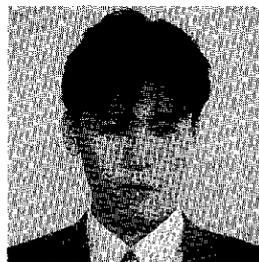
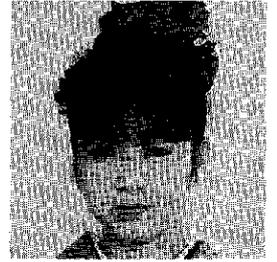
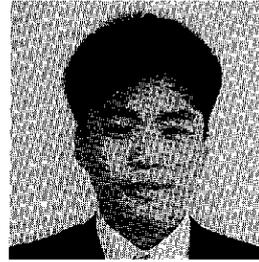
久しぶりに会った友だちと・・・



成人を代表して誓いのことは  
を述べる山家さん



北村教育長(右)から代表して記  
念品を受ける滝沢さん



（順不同・敬称略）  
■千手地区■

沖立 星名重幸 数藤久晴 丸山かおり 小海葉子 小海佐智子 清水功 佐藤真一 水品知美 南雲典子 小林千津子 風間恵利子 茂野勝彦 柳未樹 高橋路子 清水麻貴 貴田江里子 吉樂絵里 星名義光 星名誠 小林美智子 春日敏幸 平野正巳 金子勇 滝沢実花 高橋かおり 富井克也 小林貞一 高橋真 田中光一 数藤光一 清水亨 宮沢和代 小林紀子 野上裕行 田村利一 高橋英昭 川崎郷上 中島町 高橋英昭

■上野地区■

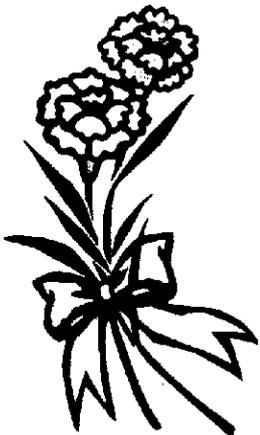
沖立 星名康弘 相崎将子 五十川美香 広山聡美 黒嶋征宏 高橋憲一 高橋大和 高橋洋一 羽鳥貴成 檀間慈 星名香織 星名和美 高橋修 中村潤 高橋身奈 中村和代 藏品光寿 田村正和 田村房子 田村裕子 渡辺裕美 鶴霜 古条 鷲 坪山 高橋潤 星名和 星名香織 檀間慈 高橋修 中村潤 高橋身奈 中村和代 藏品光寿 田村正和 田村房子 田村裕子 波辺裕美 伊友 黒嶋征宏 高橋憲一 高橋大和 高橋洋一 羽鳥貴成 檀間慈 星名香織 星名和美 高橋修 中村潤 高橋身奈 中村和代 藏品光寿 田村正和 田村房子 田村裕子 渡辺裕美

■橘地区■

元町 柳純子 新町新田 若山優子 下平新田 沢口幹夫 三領 高橋麻子 木落 大宮幸雄 山家文良 相馬早苗 羽鳥真由美 野沢光輝 藤原浩 山口隆 井口奈穂子 春日惠美子 水落悦子 岩坂哲 滋野秀昭 星野和彦 星野広幸 丸山学 村越昭彦 村越一仁 村越政貴 滋野久美子 池竹英人 原田 池竹英人

■仙田地区■

原田 丸山正洋 根深 清田有里 下原 丸山高之 須藤敏之 中仙田 小林利明 南雲利光 小林希世美 小林桂子 南雲知美 川崎進一 齋喜仁 高橋丈夫 増田直樹 小脇 佐藤みゆき 高橋美津子 赤谷 小川明 高橋良雄 田村秀和 高橋澄子 高橋弘美 小川紀幸 岩瀬 金子仁 田中宏志 片桐ルミ子 大白倉 中村香織 小白倉 田中幹夫



# 千手町警察署 ③

岩瀬 金子 幸作

## 捜査費の多額に驚く

昭和二十五年は、三月六日に公安委員の任期が満了して委員の更迭が行われた。

新委員 白井 源次 農 業  
旧委員 清水 松治 金物商

千手町警察署管内で発生した事件のうち、まだテレビの無かった時代に世間から注目されたのは、この年初夏に起きた異常な殺人事件である。親戚の家庭紛争で預った金を着服して妹の犯行に見せかけ、その実妹を鉄橋から信濃川に突き落とすという、常識では考えられない犯行を知って町民の衝撃は大きかった。

被疑者〇〇〇は、犯罪をにくむことに徹した千手町署員の執念で五月二十三日夜の犯行から十二日目に検挙されたが、社会に背を向けたこの兄もまた暗い世相の犠牲者といえないこともなく、戦後の混乱はこの事件を最後に遠のいていく。

事件の捜査と犯人逮捕に要した費用は、千手町の直接負担した金が八万五千六百五十二円五

十銭で警察費総額の六パーセントを大きく上回り、多額な捜査費の負担に将来の運営を危惧する町民が少くなかった。

## 警察あつて高まくら

二十六年は、病害虫の発生と日照りに見舞われて米が二割の減収となったが、主食の欠乏から供米の強い要請があつて個人への割り当てが難航した。苦しい生活の中で自家用の米をやりくりし、親類や縁者に届けようと持ち出して取り締まりに会い、食糧管理法にふれて没収された者の氏名が残っている。

木炭、たばこ、みそ、しょうゆが自由販売になつて経済犯が減少し、信電第三期工事も終わつて川西郷は静かな村にもどる。警察署あつて高まくらで寝れる、平和な千手町といえる年であつた。

## 見ぬふりした巡査

このころ、食糧増産のかけ声はめざましく、上野村では松葉沢ため池が完成して元町、上野中子の水田六百町歩に水がかか

昭和前期の千手町(南雲町長提供)



り、千手町では長福寺沢と坪山沢に貯水池が完成して水田四百町歩がうるおっている。仙田村では最後となつた瀬替え工事が、洪海川上の島で行われた。

当時は工用資材の調達が至難でスコップ、セメントなどを大量に入手するにはヤミ米と交換しなければならなかった。それを知つて、現場を押さえても見ぬふりをしてくれた巡査もいたが、その人の名は言えない。

## 国警に移管したい

民主主義が軌道にのると、連合軍の命令で置かれた自治体警察も、住民の意志で廃止に賛成となれば国家警察に移管することが認められた。千手町でも警察署の廃止について町民から火の手があがり、県下のトップを

切つて、二十六年七月十三日の町議会がこの問題を協議した。この日議会に出席した議員は

- 中村良一、小野塚長八郎、高橋憲太郎、清水花治郎、清水周平、田中与三郎、平野圭三、数藤奥治郎、太田亀治、小林重太郎、蔵品準司、中島久助、星名美昌、保坂長雄、保坂竜三、星名与三郎、村山林平、高橋東平、平野栄二、田村辰巳、高橋仁吉、相崎福治の二十二氏である。

## 警察署の廃止を提案

中村壮吉町長は、提案理由を次のように説明している。

私どもが三年前に設置した警察署を、今までもおり存続したほうが良いか、それとも廃止するかについてお諮りする。この件については問題も多いが、町民の間では廃止の声が強いのではないかと認識している。まず議会で廃止か否かを決めてもらい、そのうえで、世論を尊重して住民投票にかけることが一番良い方法だと考えている。

千手町署を中魚沼地区署に移管することで、千手町は申すに及ばず、川西郷六町村の治安は一層の強化をはかることができると思う。町が警察署を廃止すると平衡交付金が減額されると心配するむきもあるが、そのすじに照会したら交付金には

影響のないことがわかった。

## 議会が廃止を議決

町議会は、千手町警察署を廃止した場合の治安上の問題や、これまでどおり存置した場合の町民の負担能力、今後の町発展について慎重に審議した。

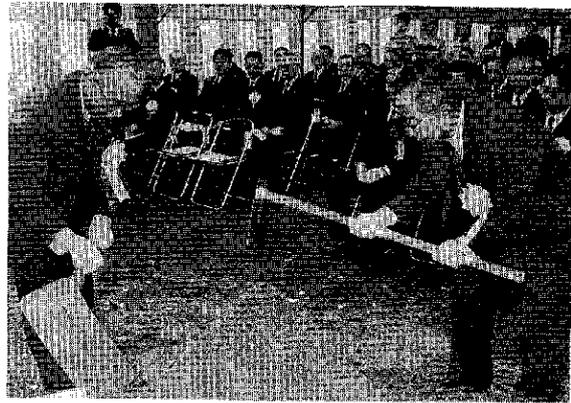
この結果、可否を投票で採決したら、これまでどおり警察署を存置することに賛成の議員が七人、反対が十五人で、町議会としては千手町警察署を廃止して国家警察に移管することが決まり、議会の議決の日から六十日以内に住民投票をして存続か廃止かを決めることになった。

## 渡辺署長は語る

千手町警察署の渡辺賢吾署長は、十日町新聞(七月十五日号)に次の談話を残している。

千手町の今の治安状況を見ても、各種の犯罪や町民の動向などを推考しても、現行の七人の警察官は必要ないように思われる。署員も、活動や待遇の面からいっても、国警という大きな組織の中に入って動くことを望んでいる。このさい、千手町署も国家警察の傘下に収まって組織を強化し、中魚沼地区署(十日町警察署)の管轄で治安の任に当たることが町民に有利と考えている。

# 十日町市川西町 衛生施設組合



クワ入れをする南雲町長（左）と丸山市長

## ごみ焼却場建設起工式

— 総事業費37億円で

無公害の新清掃工場に —

三月七日、十日町市川西町衛生施設組合が計画を進めていた、新しいゴミ焼却場の起工式が十日町市下島地内で実施されました。式には、組合関係者や組合議会議員、日本鋼管株の小倉専務など工事関係者四十人ほどが参加し、丸山十日町市長と南雲町長がクワ入れをして、工事安全と完工を祈願しました。

焼却場の建設は、現有施設の老朽化に伴い計画していたもので、厚生年金・国民年金積立金

の還元融資などを受けて、総事業費二十七億円を投入、来年十月供用開始に向けて工事に入るものです。

新しい施設は、鉄筋コンクリートおよび鉄骨造り地下一階、地上四階建て延べ二千六百平方

メートルで、一日十六時間で九十トンのごみを焼却できる焼却炉と、可燃性粗大ごみの処理施設を備えています。来年十月には、最新の公害防止を備えた近代清掃工場として生まれ変わります。

四月も中旬を過ぎると、町のあちこちの桜もようやく開花し、花見や山菜採りなど、春を楽しむ季節となってきました。

四月も中旬を過ぎると、町のあちこちの桜もようやく開花し、花見や山菜採りなど、春を楽しむ季節となってきました。

春の行事の皮切りとして、十九日、野口で水ばしりまつりがありました。あいにくの雨天で人手がいま一歩であったとはいえ、一万株を越す水ばしりまつり群生地を見ようと、多くの人が訪れました。

また、二十六日には「高倉ツナの家」で、山菜まつりが開かれ、およそ百人が九種類の山菜料理に舌鼓をうちました。

また、二十六日には「高倉ツナの家」で、山菜まつりが開かれ、およそ百人が九種類の山菜料理に舌鼓をうちました。

## 春の訪れ 春を楽しむ心



千手小学校グラウンドの桜も何年ぶりの満開です

(4・21)



町内外から多数が訪れ、地域の暖かいうちもてなしを受けた山祭まつり

また、二十六日には「高倉ツナの家」で、山菜まつりが開かれ、およそ百人が九種類の山菜料理に舌鼓をうちました。

# 河岸段丘を歩いてみたら

ブナの新緑  
野鳥のさえずり



四月二十九日、信濃川河岸段丘ウォークが、建設省北陸地方建設局信濃川工事事務所、新潟日報社、二市四町村などの主催で開催されました。この催しは、中魚沼・十日町地域から小千谷にかけて形成された河岸段丘と呼ばれる自然地形の美しい景観、大河信濃川の流れを味わいながら、健康の喜び、歩くことの素晴らしさ、体にあすへのエネルギーを充電しようとする開かれたもので、ことごとく五回目となります。

町総合体育館前からは、25キロコースが出発、八六七人が信濃川河岸段丘を歩きながら、ゴールの小千谷サンプラザを目指していました。

子供の新聞書紹介

○やさしいこうさく 小峰書店  
全十二巻 小学校低学年より  
なにもかもそろそろ現代の生活では、また不用になるさまざまの物ができます。それらの材料を使って、子供たちが工作や遊びとして再利用する方法を教えてください。

紙コップ、ストロー、発泡スチロール、空き缶、割りばしなど捨てられる身近なもので、すぐできるアイデアいっぱいこの工作の本です。作る楽しさと、それを遊びに生かすことによって、子供たちの創造力を育ててくれ

ることでしよう。

○日本のみんなの絵本 幼児向け  
全三巻 ほんぷ出版  
民話は本来語り手と聞き手による共同の想像力の上に成り立つ世界なのです。だから、文字と絵による表現にはむずかしさがともないます。このむずかしさに真正面から取り組んだ意欲作といえます。

幼児を対象とした文章はわかりやすく表現されており、大人が子供に絵を見せながら語り聞かせるには最適な民話絵本といえます。特に絵は迫力があり、子供たちの想像力に点火してくれることでしょう。

鳥を飲みこむと、おなかの中で美しい鳴き声をするという「とりのみじき」……、松代の民話も集録されています。

看護の日(5月12日) 看護週間(5月10日-16日)



ちいさな展覧会

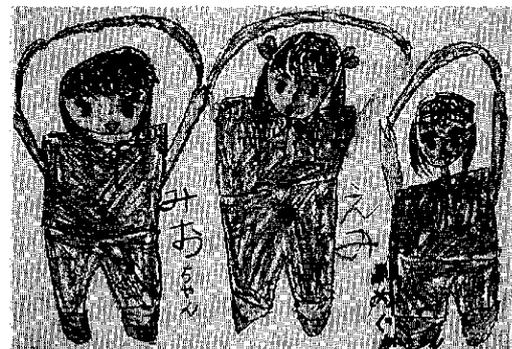
仙田小学校



6年 小林理恵さん



3年 小林真理さん

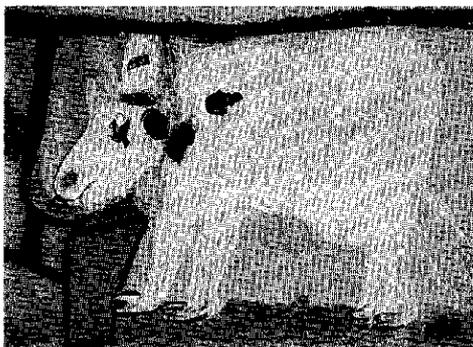


1年 樋口恵美さん



5年 登坂幸雄君

5年 丸山良亮君



2年 高橋大輔君



4年 樋口亮君

(6月号は白倉小学校です)

# 善 意

(敬称略)

## 広報発行に

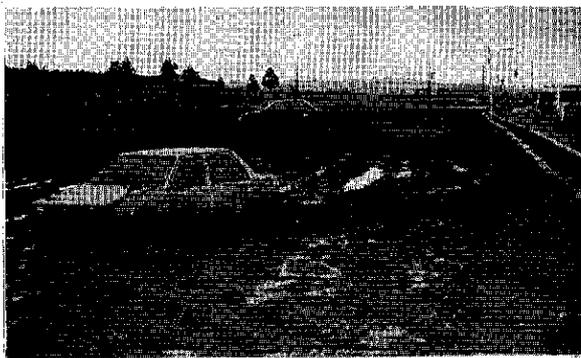
小林 莊平	(豊島区)	1万円
水落 克	(川崎市)	1万円
上村 忠男	(横浜市)	1万円
ダイヤパレス苗場管理事務所 従業員一同	(湯沢町)	5千円

## 国の行政機関は

### 5月から毎週土曜日が 休みとなります

- ただし、国立病院の病棟部門、主な国際空港の関税、地方入国管理局、検疫所、配達をする郵便局の郵便部門や博物館、美術館などは今までどおり開いています。
- そのほかにも、土曜日に業務をする行政機関がありますので、ご利用の窓口にお問い合わせください。

## ぎよ！ 田んぼに車が



ちょっとした油断がこうした事故を招きます

四月六日から十五日まで、春の全国交通安全運動が実施されました。この期間中に、町内では三件の交通事故が起きています。

また、期間の終わった十六日夕方には、町道東山新町新田線の坪山地区で、乗用車が田んぼに乗り入れたケースや、二十日には、上野で乗用車と高校生が乗ったバイクの接触事故もありました。

春という気候も手伝って、居眠りなどに起因する事故も増えているようです。私たちは、事故の加害者にならないことはもちろんのこと、被害者にもならないよう、十分注意していかねばなりません。

役所などの窓口で不便な思いや、不親切な扱いを受けたことはありませんか。

こうした行政サービスを改善しようとして、国では毎年五月を「さわやか行政サービス推進月間」と定め、『国民の立場に立った親切な行政・真心のこもった行政』の実現を目指して、この運動を展開しています。

- ① 職員の応接態度・言葉づかいの改善
- ② 混雑の解消・待ち時間の表示
- ③ 事務処理の迅速化・的確な対応
- ④ 案内標識・案内図などの整備改善
- ⑤ 申請手続きの明確化・簡素化
- ⑥ 待合室・トイレなどの美化
- ⑦ 不良・不備・不都合施設、設備の改善
- ⑧ 施設利用に係る情報提供の充実
- ⑨ 昼休み・夜間などの受け付けの改善
- ⑩ 公益事業などのサービス改善

町道東山新町新田線の沿線七百坪にわたって、サルビアの花で通行者の目を楽しませてくれる「フラワールード」。ここに植えるサルビアの苗およそ四千本をポットに詰める作業が、四月二十日から始まりました。

「フラワールード」は、町民の花いっぱい運動を目指して平成元年から進められている事業です。二十日は町の職員、普及所、生活改善グループの人たち二十人が出て、作業に当たっていました。

一本一本ていねいに、ポットに苗が詰められていきます

町道東山新町新田線の沿線七  
百坪にわたって、サルビアの花  
で通行者の目を楽しませてくれ  
ている「フラワールード」。こ  
こに植えるサルビアの苗およそ  
四千本をポットに詰める作業が、  
四月二十日から始まりました。

「フラワールード」は、町民  
の花いっぱい運動を目指して平  
成元年から進められている事業  
です。二十日は町の職員、普及  
所、生活改善グループの人たち  
二十人が出て、作業に当たって  
いました。

詰められたポット苗は、五月  
下旬ごろ道路沿線に植え付けら  
れ、六月下旬から十月下旬にか

一本一本ていねいに、ポットに  
苗が詰められていきます

けて赤い花を咲かせ、通る人た  
ちの心をなごませてくれます。

# 行政相談は一人ひとりの声を より良い暮らしに生かします

# サルビアのポット詰め始まる

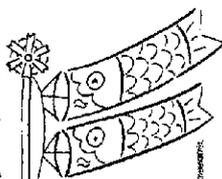
# 戸籍の窓から

うぶ声 おすこやかに

水品 拓人 幸江 長男 新町新田

太田 真世 美智子 二女 中央町

秦野喜三彦 昭夫 三男 仁田



## かわせ 俳壇

太田白南風選

霞む野や小学唱歌口ずさみ

雪消えて焚かねばならぬ物多し

霜条 星名 星光

高枝に纏切れ残し困解く

山野田 藤田ひろ志

土に生く八十八夜里せわし

足立区 駒形 頼太

分水は長堤五里や花見酒

上野 内山 寛平

山里に暮して春の恵みあり

大倉 中条 石平

石垣を覆いつくして芝桜

上野 星名 春子

芍薬の赤芽ほぐれて菜種梅雨

中仙田 高野仙蒼子

一と沢の野の暮れ残り水芭蕉

野口 野沢 寅生

ブナ若葉一雨ごとの美しき

小白倉 田中 優美

薫風に躍る大小鯉鱈 木落 丸山 詩朗

小林 翔吾 浩子 三男 木島

丸山 友浩 直子 浩長男 根深

樋口 真央 紀子 三女 中仙田

### たかきこーご円満に

野沢 浩和 野口

小宮山 美佐子 十日町市から

麦笛を吹くこともなき子供の日

練馬区 須藤 遊人

小さき庭牡丹の咲きて心満つ

幡阿弥陀真深のありて入学児

そよ風や早わた飛ばす路のとう

赤谷 登坂 酔月

朝のこと忘るるほどに日永なる

岩瀬 小川 益栄

貼りついて傘に重たき春の雪

中屋敷 数藤 壮一

鈴なりの絵馬おみくじや梅の枝

元町 金子 鉄平

困われしまま一輪の椿かな

浦和市 登坂 博史

耕の野辺の鳥と二点だけ

原田 根津とさ子

山合いのせせらぎぬるみ芹を摘む

新町 若山 向山

鯉鱈咲きのこりたる八重桜

八王子市 松浦 サク

吹き荒るる春の嵐や桜散る

厚木市 川崎 保一

嘸のしきりに漏るるぶな林

新町 井川 亘

野口 村越 幸

(山口) 敦 仁田から

高橋 さゆり 赤谷

昇天 ごめい福を祈る

川崎 貞治67 (誠) 空島

田村 忠司71 (英雄) 上野

水落 則吉74 (本人) 仁田

北村 直次78 (本人) 山野田

上村 慶作82 (良一) 上野

登坂 勇作88 (定雄) 岩瀬

春炬燵ニュース聞きつつまろみぬ

八王子市 田中 ひさ

夕暮るる菜の花にある春の風

登坂所通り春日 ぶん

水ぬるみおたまじやくしよはや泳ぎ

野口 村越 春野

羽ばたきもせず鳶舞いて春の晴

元町 上村 トミ

かたくりの群落山を彩どりし

仁田 小幡しん女

よもぎつむ膝にほのかな地の温み

岩瀬 登坂伊智子

鍬の柄をしめて春耕初めけり

小白倉 江口みゆき

春眠の覚め居て暎閉じている

仁田 戸山 専治

豪邸の苔むす石や牡丹園

高倉 斎木 和人

越後路の札所巡りや花曇り

仁田 戸田 貞子

鍬洗う水面にゆらぐおぼろ月

上野 渡辺 朝

去来して嘸りせわし春の朝

野口 野沢 静江

初ものの山菜料理も仏前に

野口 村越 由喜

# 『漢方』と私の出会い

十年程前のある日の夕方、私はいつものように妹と食事をしておりました。その時、魚の骨がのどにひっかかったらしく、ひどい痛みを感じました。あまりの痛さで吐き出したものは血液でした。

次の日、私は耳鼻咽喉科で検査をしていただきました。先生が受診の後、「痛いでしよう。私が出す薬をとにかくだまされたいと思って飲みなさい。」といわれ、私は100と書いてある漢方薬を、まずいのを我慢して飲みました。すると、三回飲んだところまで今までの痛みがすっかりなくなりました。それまで西洋医学のみを学んでいた私は、漢方もまた有用なものであると感じ、漢方を正しく評価すべきであると思いました。

「漢方」という語は和製用語で、蘭方(オランダ医学)や和方(日本固有の医学)に対して作られた言葉です。「漢」は中国の歴史上重要な時代で、中国医学もこの時代に基盤が確立したといわれています。当時の医学書に記されている薬の効果は、生薬の成分・薬研究上、いまなお参考にされています。

わが国における医学書の渡来は、六世紀半ばに知聡という人がもたらしたのが最初だといわれており、江戸時代には漢方医学が飛躍を遂げました。でも、十六世紀後半に西洋医学が導入されると、十九世紀には漢方と蘭方の勢力がしだいに逆転していききました。

しかし、一九五〇年代以降、現代医薬にみられる副作用、検査重視に伴う患者の愁訴の軽視などの理由から、東洋医学が復興してきました。

今、私は「個の医学」すなわち、患者一人ひとりの医学といわれる漢方を習得すべく日々を研鑽しております。

富永満里子 国保診療所医師談



チヨウセンニンジンのエキスなとも漢方の一つになります